

令和5年度 ロームシアター京都 指定管理業務自己評価書

1 業務実績及び概要

令和5年度のロームシアター京都は、「市民に愛され、交流の場となるホール」「質の高い舞台芸術や、新たな文化創造の場として世界文化都市・京都を発信する「文化の殿堂」としての存在感をさらに発揮して、多彩な自主事業の展開に加えて、貸館事業においても興行プロモーター等との調整を図りながら多くの方にご利用いただき、文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与してまいりました。

また、開館以来掲げる「劇場文化をつくる」というコンセプトのもと、より一層、自主事業の推進に努めてまいりました。これまでと同様に、「つながり（交流）」を全事業の包含する要素として位置づけ、「つくり（創造）」、「育て（育成）」、「活かす（生活）」有機的なサイクルを作り上げました。あわせて、賑わいスペース事業やミュージックサロン事業等により、賑わいの創出や身近に文化芸術に親しむための取組を行いました。

令和5年度のラインアップテーマは「出会いの旅路、その交点」。プログラムには、「さまざまな時代/地域/ジャンル」で紡がれてきた文化や先人の表現を踏まえた歴史性に根差した視点と、そこから飛躍した現代的な視点が交わり、同居する舞台が揃いました。

2 主催・共催事業に関すること

令和5年度の自主事業（主催・共催事業）は、43事業117公演14講座を開催し、総入場者数は57,867名でした。以下、各項目ごとに実施した事業の特色や課題について記載します。

（1）文化芸術の創造及び振興に関する業務

ア 交流事業

海外アーティストによる上演、国際交流を促進する取組は、スコットランド、オーストラリア、フランス、ギリシャからの舞台が来日しました。太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ）、ディミトリス・パパイオアヌーの招聘といった世界水準の演目によって、「文化の殿堂」としての存在感を発揮しました。太陽劇団は、22年ぶり2度目の来日にして初の関西公演となりました。『金夢島』は、日本と思しき架空の島を舞台に、謀略と権力闘争、演劇祭を巡る虚々実々、愛と哀しみの人間模様が、演劇的な表現様式を駆使して描かれました。ディミトリス・パパイオアヌーの最新作は、国内唯一の上演となり、全国的な注目を集め、シュールリアリズムの美学に満ちた詩的世界が展開しました。また、京都国際舞台芸術祭といった国内外の交流と地域の賑わいを創出する事業も好評裡に終了しました。

イ 創造事業

劇場の財産となる作品のプロデュースや国内外のアーティストとの協働により、ロームシアター京都を創造の場として活かした事業を展開しました。これまでも話題作を生み出してきた「レパトリーの創造」では、アーティスト高谷史郎による新作パフォーマンス『Tangent（タンジェント）』を上演しました。本作では、マクロ/ミクロのスケールを行き来しながら、物質や空間、音や光、色彩がそれとして知覚されるうえでの境界の在り方に着目しました。なお、本作品は、好評を得て、欧州文化首都タルトゥ2024（エストニア）、ヴェネチア（イタリア）での巡演が決まっています。

子ども向けプログラムではスコットランドから演出家や舞台美術家、パフォーマーらを迎え、ロームシアター京都で最終クリエイションを行った、『ペック』を世界初演しました。京都公演後、那覇、北九州、山口でも上演が行われ、令和6年度も引き続き、神奈川、愛知、大阪（高槻）での上演が計画されています。平成30年度事業で製作した、木ノ下歌舞伎による『糸井版 摂州合邦辻』の岩手・北上公演[主催：一般財団法人北上市文化創造]、滋賀・大津公演[主催：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール]も実施し、ロームシアター京都発のプロダクションを他地域にも届けました。

ウ 育成事業

開館当初より継続する「小澤征爾音楽塾」や「新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室」の充実に加え、「劇場の学校プロジェクト」、「リサーチプログラム」などの次代を担う若者を育成する事業を行いました。令和3年度から開始した「芸能の在る処～伝統芸能入門講座～」においては、「狂言」、「落語」、「浪曲」のジャンルを取り上げ、観客の開拓や育成・普及啓発に取り組みました。京都芸術センターと協働して行う創造支援プログラム「KIPPU」や京都市ユースサービス協会と連携する劇場の仕事体験「未来のわたしー劇場の仕事ー」によって、将来的な人材育成に寄与する事業も行いました。

エ 生活事業

夏の「プレイ！シアター in Summer」、秋の「OKAZAKI PARK STAGE」と毎年好評の恒例イベントを中心に、子どもから大人まで劇場を満喫し、気軽に舞台芸術を体験できる催しを開催しました。また、地域文化会館と協働し、小さな子どもとその保護者向けの公演を上演し、生活と密着したプログラムを展開しました。また、京都市立芸術大学と協働し、「ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語り、いろいろ焼いて食べる会」を実施しました。ボランティアスタッフを募り、運営に参画いただきました。劇場と生活を結びつける機会の創出を目指し、オープンスペースの活用、ホールを飛び出して行う事業などを通して、京都・岡崎地域の施設や団体と連携を深め、地域の活性化に努めました。

【主な事業（ジャンル別）】

● 演劇

- ・《継承と創造》「魅する舞金剛」金剛流能『石橋』 / 舞囃子『乱』『雪』
- ・プレイ！シアター in Summer 2023<ステージプログラム>
アンディ・マンリー『ペック』
- ・第365回～第369回 市民寄席
- ・劇艶おとな団プロデュース『9人の迷える沖縄人～after' 72～』
- ・シス・カンパニー公演『帰ってきたマイ・ブラザー』
- ・老いと演劇 OiBokkeShi 『レクリエーション葬』
- ・太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ）『金夢島 L' ÎLE D' OR Kanemu-Jima』
- ・穂の国とよはし芸術劇場PLATプロデュース『たわごと』
- ・オル太『ニッポン・イデオロギー』



● 舞踊

- ・川口隆夫『バラ色ダンス 純粹性愛批判』
- ・ディミトリス・パパイオアヌー『INK』
- ・Co.山田うん『In C』
- ・レパトリーの創造 高谷史郎『Tangent (タンジェント)』
- ・akakilike『家族写真』



● 音楽

- ・新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室2023
モーツァルト：歌劇『魔笛』全2幕
- ・Sound Around 003 出演：日野浩志郎、古舘健、藤田正嘉、谷口かんな、前田剛史
- ・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXX
モーツァルト：歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』
- ・goat 10 year anniversary スペシャルライブ



● 総合／参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム

- ・京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2023
- ・ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”

- ・ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
- ・プレイ！シアター in Summer 2023<オープンデイ>
- ・岡崎活性化企画 OKAZAKI PARK STAGE 2023
- ・ちっちゃい焚き火（薪ストーブ）を囲んで語り、いろいろ焼いて食べる会
- ・舞台芸術プロデュース講座～演劇・ダンス編～
- ・劇場の学校



（２）賑わいスペースに関する業務等の実施状況

「京都会館賑わいスペース事業プラン」を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）と調整・連携を図り、市民や観光客の皆様の憩いの場となるパークプラザを中心に、ブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗が高い評価を得て運営されるよう努めました。

令和5年度においても、ロームシアター京都が、舞台芸術のためだけでなく、より開かれた場として多くの方の交流の場となることを目指し、賑わいスペース事業者と連携し、生活文化等に関わる様々な文化事業を実施しました。

賑わいスペース事業 店舗等の概要

事業内容	店舗名	営業時間※
ブック&カフェ (パークプラザ1階)	京都岡崎 蔦屋書店	午前8時から午後8時
	スターバックスコーヒー	午前8時から午後10時
レストラン (パークプラザ2階)	京都モダンテラス	午前11時から午後10時
キオスク (サウスホール1階 ホワイエ内)	ファミリーマート	午前8時から午後8時
ギャラリー・ライブラリー (パークプラザ3階共通ロビー)	BOOK&ART GALLERIA	午前10時から午後5時 (開館時間等に応じて変更)

※臨時休館等により、変更の場合あり。

入店者数

区分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入店者数の実績値	1,708,053名	1,125,605名	1,266,065名	1,732,889名	1,745,810名

(3) 市内劇場文化の活性化に資する業務

上記【主な事業】の「● 総合／参加する劇場へ ～学芸・教育プログラム」にも記載のKIPPUにより、創作や上演の場の提供や制作業務の支援等による若手アーティストの発掘や育成等を行うことで、市内劇場文化の活性化につながる取組を進めており、今後もこうした形で継続していくことが重要と考えています。

(4) その他施設の目的を達成するために必要な業務

ア 広報関連

主催事業ラインアップ・リーフレット、催物カレンダーの作成、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組、また、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供や話題作りを行い、劇場への期待感を高めるとともに、施設の認知度を高める取組を引き続き進めました。

イ 助成制度の活用等による事業の充実

企業からの協賛金や以前より獲得してきている文化庁等の助成金にも積極的に申請し、各種助成金獲得へ向けた取組強化を行いました。また、平成26年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についても、引き続き新規の会員獲得に取り組むとともに、令和7年度に向けた制度改革の検討を進めるなど、外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り、積極的な事業展開につなげています。

助成金等

対象事業名	助成団体等
新国立劇場・高校生のためのオペラ鑑賞教室2023「魔笛」	(公財) ローム ミュージック ファンデーション
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（公演）	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（人材）	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（普及）	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（公演・多言語）	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（普及・多言語）	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
京都府文化芸術体験機会創出事業	京都府文化生活部文化芸術課
劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会
アートキャラバン事業委託費	文化庁／（公社）日本芸能実演家団体協議会
アートキャラバン事業委託費	文化庁／（公社）全国公立文化施設協会

協賛金等

対象事業名	助成団体等
新国立劇場・高校生のためのオペラ鑑賞教室2023「魔笛」	ローム株式会社
プレイ！シアター in Summer 2023	ローム株式会社
アンディ・マンリー『ペック』	ローム株式会社

太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ） 「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」	（公財）稲盛財団
太陽劇団（テアトル・デュ・ソレイユ） 「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」	シャネル合同会社
ディミトリス・パパイオアヌー『INK』	RICHEMONT INTERNATIONAL（ヴァンクリーフ・アーペル）

賛助会員数と寄附金額

会員区分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
スペシャルサポーター（法人）	1件 50万円	2件 100万円	2件 100万円	2件 100万円	1件 50万円
サポーター（法人）	31件 340万円	20件 210万円	17件 180万円	17件 180万円	20件 210万円
スペシャルパートナー（個人）	32件 162万円	33件 218万円	28件 149万円	16件 103万円	23件 105万円
パートナー（個人）	45件 90万円	52件 104万円	48件 96万円	50件 100万円	45件 90万円
少額寄付	— —	— —	— —	— —	1件 1万円
合計	109件 642万円	107件 632万円	95件 525万円	85件 483万円	90件 456万円

ウ 地域活性化等

「(2) 賑わいスペースに関する業務等の実施状況」にも記載の店舗の運営やイベントの開催等、また、CCCが開設している京都岡崎 蔦屋書店のWEBサイト等による情報発信などにより、岡崎地域の魅力向上に向けた取組を進めました。また、京都岡崎魅力づくり推進協議会とも連携し、同協議会が発行する「岡崎手帖」への催し情報の記事広告掲載を行いました。

さらに、ローム・スクエアを会場に、地域の団体等とも連携し開催した催し「OKAZAKI PARK STAGE」では、企画内容や事業形態を工夫して実施し、地域の活性化にも寄与できたと考えています。

3 施設管理運営に関すること

(1) 概要

令和5年度のロームシアター京都では、各施設の特性を生かした舞台芸術公演や式典、学会、講演会などの様々な利用があり、非常に多くの方々にご来場いただくことができました。

多様な利用内容に伴う様々なニーズに応えられるよう、利用者やお客様のご案内、場内サービス、各種設備の運転等について、実際の利用状況や利用者からのご意見等を踏まえた改善を引き続き進め、安全、安心で快適な劇場空間の提供に努めました。

特に各ホールの利用者に対しては、下見や利用相談への丁寧な対応、利用者アンケートの実施等により、繰り返しロームシアター京都をご利用いただけるよう利用促進に取り組みました。また、ノースホールでは利用日まで3箇月を切った日程の利用に限り、「練習等のみを目的とした利用」を、「準備・練習」料金でご利用いただける、新しい制度の運用を開始しました。

日数利用率

区 分		平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
メイン ホール	利用率(日数)の目標値	83 %	81 %	82 %	82 %	81 %
	利用率(日数)の実績値	81 %	49 %	63 %	82 %	77 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	60.5 %	76.8 %	100 %	95.1 %
サウス ホール	利用率(日数)の目標値	82 %	78 %	76 %	76 %	80 %
	利用率(日数)の実績値	80 %	46 %	63 %	73 %	79 %
	目 標 達 成 度	97.6 %	59.0 %	82.9 %	96.1 %	98.8 %
ノース ホール	利用率(日数)の目標値	75 %	76 %	74 %	74 %	72 %
	利用率(日数)の実績値	72 %	59 %	67 %	78 %	78 %
	目 標 達 成 度	96.0 %	77.6 %	90.5 %	105.4 %	108.3 %

入場者数

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入 場 者 数 の 目 標 値	510,000 名	520,000 名	330,000 名	330,000 名	500,000 名
入 場 者 数 の 実 績 値	497,784 名	76,076 名	210,564 名	332,861 名	352,568 名
目 標 達 成 度	97.6 %	14.6 %	63.8%	100.9%	70.5 %

利用料金収入額

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用料金収入の目標値	328,000 千円	351,389 千円	346,296 千円	339,994 千円	340,634 千円
利用料金収入の実績値	333,812 千円	136,254 千円	274,933 千円	343,413 千円	339,363 千円
目 標 達 成 度	101.8 %	38.8 %	79.4 %	101.0 %	99.6 %

ジャンルごとの月別入場者数

月	音楽	舞踊	演劇	学会・会議	講演	その他	計
4月	26,572	697	130	2,180	908	1,625	32,112
5月	16,680	673	5,270	1,216	950	1,402	26,191
6月	16,820	2,986	12,461	465	1,547	1,203	35,482
7月	19,796	1,902	2,465	1,072	1,061	2,260	28,556
8月	6,610	3,904	3,681	106	350	4,710	19,361
9月	27,116	618	780	2,040	2,861	4,057	37,472
10月	14,038	0	2,096	650	1,075	5,478	23,337
11月	12,683	2,175	5,395	1,042	950	766	23,011
12月	21,719	3,465	11,766	1,406	800	2,965	42,121
1月	11,548	9,471	601	2,956	1,300	1,097	26,973
2月	9,354	1,073	5,091	2,201	0	5,645	23,364
3月	15,681	2,208	40	90	900	74	18,993
計	198,617	29,172	49,776	15,424	12,702	31,282	336,973

※「令和5年度のジャンルごとの月別入場者数」は、メインホール・サウスホール・ノースホールの利用に係る入場者数であり、自主事業は財団調べ、貸館事業は利用者（主催者）調べ。

※年間入場者数 352,568 名には、上記入場者数 336,973 名に加え、会議室及びレッスン室 1,325 名ローム・スクエア及びその構内地 14,270 名を含む。

（２）施設等の利用許可に関する業務

京都市京都会館条例及び同条例施行規則に基づき、施設の利用許可や利用料金の徴収などを行いました。

ホール利用受付件数

区 分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
舞 台 芸 術 公 演	312 件	275 件	335 件	371 件	338 件
そ の 他 催 し	163 件	65 件	124 件	166 件	160 件
合 計	475 件	340 件	459 件	537 件	498 件

（３）舞台運営に関する業務

より良い催しの実現のため、舞台技術スタッフが、貸館担当スタッフとともに、施設利用者へのサポートや安全管理等を実施しました。日常的な機材メンテナンスや保守業者による点検作業等を計画的に実施したほか、舞台機構、照明、音響などの専門スタッフが、適切な管理や支援、トラブル対応等により、催しが安全な状況で確実に開催される状況を適切に維持しました。

（４）場内サービスに関する業務

ホールの催しにおいて、お客様と直接接し、入場管理、安全管理等を行うレセプション業務については、その人数や配置等について、施設利用者（主催者）とも細かい調整の上、実施しました。

チケット販売のほか、来場者へ施設や公演の案内等を行っている総合案内においては、催しに応じた案内方法の工夫等を行いました。

なお、チケットについては、インターネットを活用した販売も行っており、インターネット経由で予約し、コンビニエンスストアでの発券を選択される方が増えている一方で、電話による予約やお問い合わせをされる方も多く、丁寧な対応を心がけました。また、スマートフォンやパソコンにQRコード（二次元コード）を発行し、読み取り機にQRコードをかざすだけで入場できる電子チケットの購入の際、手数料を安価に設定することで利用を促進し、窓口で受け取る必要がなくなる等のメリットをより広く発信したほか、チケット購入の際、多様なニーズに対応するため電子マネー決済やQRコード決済を導入し、お客様の利便性の向上を図りました。

なお、メインホールとサウスホールに設置されたビュッフェカウンターについては、施設内のレストラン（京都モダンテラス）を運営する事業者により、各ホール本番利用の際の開演前、幕間等にビュッフェサービスを実施いたしました。

（５）施設設備及び備品の管理

これまでの運営で把握してきた建物の特徴や設備の具体的な特性等に基づき、利用状況や季節変動等を踏まえた日常の設備運用や保守点検、備品管理等を工夫し、安全で効率的な施設運営に努めました。

た。特に、電気設備や舞台設備、空調、楽器（ピアノ）といった、施設の運用に重大な影響を与える設備等については、予防保全の視点から、予め定期点検の日程を確保し実施しています。修繕等が必要となった場合には、速やかに対応するとともに、消耗品・備品等の管理も確実に行っていきます。その他の各種管理業務や各種有資格者の配置等についても計画通りに実施し、安心して利用できる施設環境を適切に維持しました。

主な修繕等実施状況

内容	支出費用	施工業者名
中央監視盤装置UPS及びバッテリー取替修繕	271千円	近建ビル管理株式会社
サウスホール舞台調光装置弱電盤卓直流電源修繕	627千円	丸茂電機株式会社
賑わい棟1F多目的トイレ機能不良修繕	47千円	ナカソネ住設株式会社京都営業所
メインホール舞台機構設備制御盤内基盤部品取替修繕	746千円	三精テクノロジーズ株式会社
ウォータークーラーNFX-LZ型浄水器交換	99千円	株式会社メイスイ
330インチワイドフロントスクリーン修繕	281千円	株式会社シーマ
館内LEDダウンライト施設保全修繕	346千円	近建ビル管理株式会社

(6) ミュージックサロンの運営など

命名権契約を踏まえた施設運営として、適切な名称の使用や無償使用権への対応、広報スペースの運用等に努めました。なお、広報スペースの一部である、音楽をはじめとした文化芸術に様々な形で触れ合うことができる音楽総合体験施設「ミュージックサロン」においては、令和5年度は約5箇月間展示を実施しました。イベントに関しては、「ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート」3回と「小澤征爾音楽塾展トーク&コンサート」1回をオンライン配信（ライブ、アーカイヴ）し、多くの方にお届けしました。

実績 来場者数

区分	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来場者数の実績値	9,440名	—	2,343名	2,970名	3,366名

ミュージックサロン 開催内容

事業期間	事業名・内容等	入場者数
4月2日（日）	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 上村文乃 2つのチェロで巡る時の旅 出演者：上村文乃（チェロ）、田添菜穂子（司会）	437名 (生配信視聴者数)

9月5日 (火)	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 松本和将 露西亜～愁いのメロディ 出演者：松本和将 (ピアノ)、田添菜穂子 (司会)	580名 (生配信視聴者数)
9月13日 (水)～ 12月3日 (日)	【展示】 オペラの扉2023 ～ KNOCKING ON THE DOOR, OPERA EXHIBITION ～ 悪女と悪党展 「悪女と悪党展」と題し、新国立劇場の制作したオペラに登場するキャラクターの中から悪女・悪党たちにスポットをあて、彼らの作中での人物像や聴きどころの ariaなどを、舞台写真や衣裳、舞台装置模型等と共に紹介。	1,891名
2024年 1月15日 (月)～ 3月17日 (日)	【展示】 小澤征爾音楽塾展2024 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」誕生の背景、あらすじをわかりやすく解説した内容から、音楽塾のオペラ演出を長年務めるデイヴィッド・ニースによる演出、世界的デザイナー ロバート・パージオーラの舞台装置・衣裳デザインなどプロダクションの魅力を中心に展示。	1,475名
2024年 2月22日 (木)	小澤征爾音楽塾展トーク&コンサート ～元塾生のNHK交響楽団メンバーが送る弦楽三重奏による「バッハ/ゴルトベルク変奏曲」の世界～ 出演者：大宮臨太郎 (ヴァイオリン)、横溝耕一 (ヴィオラ)、宮坂拓志 (チェロ)、田添菜穂 (司会)	542人 (生配信視聴者数)
2024年 3月23日 (土)	ROHM CLASSIC SPECIAL トーク&コンサート 石原悠企&木口雄人 ストラヴィンスキーとプロコフィエフ それぞれの挑戦と運命 出演者：石原悠企 (ヴァイオリン)、木口雄人 (ピアノ)、岩崎理衣 (司会)	697人 (生配信視聴者数)

4 事業執行体制等に関すること

(1) 人材の確保、配置、研修等

ア 職員数

提案書記載の計画をもとに、下記の体制で運営にあたりました。

区分	計画	令和5年度 (4/1 現在)
副館長	(1)名	1名
総務部長	(1)名	—
管理担当	(14)名	15名
事業担当	(9)名	10名
舞台担当	(8)名	8名
計	(33)名	33名

イ 研修の実施

職員研修の実施実績（当財団全体）

令和5年7月4日（火）	管理職（人事評価者）研修
令和5年7月25日（火）	接遇マナー研修
令和5年9月19日（火）	経理研修
令和6年2月21日（水） 26日（月） 3月13日（水）	ハラスメント研修
令和5年12月12日（火）ほか	外部研修「中堅職員研修」ほか

ロームシアター京都 独自研修の実施実績

令和5年5月11日（水）	KYOTO EXPERIMENT 職員研修
令和5年6月7日（水）	鑑賞サポート研修 「公文協アートキャラバン事業 エリア別鑑賞サポート研修」
令和5年9月6日（水）	エレベーター閉じ込め救出講習

（2）再委託業務

特に専門性の高い分野の業務については、委託により実施しました。また、一部の業務については、利用者サービス向上の観点から、業務の安定的な実施と質の向上のため、契約期間を2箇年とし、プロポーザル型の業者選定を行っています。それぞれの委託先とは日常的な情報共有や定期的な協議などにより、業務を円滑に実施できるよう努めています。

主な委託業務は下記のとおりです。

委託内容	受託業者	業務内容
舞台管理運営業務 （2箇年契約）	京滋舞台芸術事業協同組合	ホールの舞台、照明、音響の進行及び運営管理（舞台設営・撤去、舞台設備管理等）
会場案内・場内整理業務 （2箇年契約）	株式会社コングレ	会場案内・場内整理等
施設・設備の保守管理業務 （2箇年契約）	近建ビル管理株式会社	施設・設備の保守・管理（電気設備・空調設備・給排水衛生設備・消防設備・その他建物に付属する機器等）
清掃業務 （単年契約）	株式会社タクミサービス	施設・敷地内の日常清掃（ホール内、各部屋、トイレ、ゴミ収集、屋外等）・定期清掃（トイレ、床、ガラス窓）
警備業務 （単年契約）	国土警備保障(株)	施設屋内外の人的警備

(3) 中長期的な運営に向けた取組

ロームシアター京都の中長期的なビジョンやミッションに対して助言をいただくことを目的として、文化政策や劇場管理、舞台芸術に携わる専門家などの外部委員により構成した「ロームシアター京都運営懇談会」を新たに設置しました。第1回会議では、劇場運営等への助言をいただきました。

5 収支に関すること

利用料金収入は、貸館事業において主にメインホールを利用する興行プロモーターに対する利用調整等によって目標額に近い数値となりました。支出においては、資材価格や光熱水費の高騰による影響はあったものの、令和5年度に利用料金が改定されたことによる増収分を黒字の範囲内で京都市に納付したため、最終的な収支差額は0円となりました。

	令和5年度（千円）	
	予算	決算
収入の部		
指定管理料	357,343 千円	357,343 千円
利用料金収入	340,634 千円	339,363 千円
事業収入	281,162 千円	254,720 千円
その他収入	63,030 千円	99,065 千円
収入計	1,042,169 千円	1,050,491 千円
支出の部		
人件費	265,870 千円	272,360 千円
事業費	391,681 千円	388,656 千円
物件費	379,790 千円	389,475 千円
光熱水費	63,200 千円	72,718 千円
その他支出	316,590 千円	316,757 千円
支出計	1,037,341 千円	1,050,491 千円
収支差額	4,828 千円	0 円

6 まとめ

令和5年度のロームシアター京都は、8年間（令和元年度から8年度）の指定管理者として後期期間の初年度を迎える年でした。指定管理者申請書及びロームシアター京都中間評価報告書、後半4年間の事業計画書において提案した取組を着実に推進し、文化芸術の魅力を様々な方法により発信してまいりました。

今後の取組の視点としては、ロームシアター京都は多くの方が同時に空間を共有する場であることから、施設や催しの特性に応じた適切な対策を実施し、文化芸術の創造・発信拠点としての役割を確実に担っていくことで、文化芸術都市・京都のまち全体の発展に引き続き寄与していくことが重要と考えています。

賑わいスペース事業の店舗等の運営では、催しの有無に関わらず施設への来館者も多く、岡崎地域の関係施設等とも連携し、こうした賑わいを地域の価値向上に結び付ける工夫が必要です。また、リニューアルオープンから8年目を迎え、施設・設備も補修や修繕が必要となってきたことか

ら、施設としての機能を適切に維持するため、所有者である京都市による修繕とともに、ロームシアター京都としても利用者や観客、また、スタッフ等の安全面や快適性を視野に入れた機能向上に引き続き取り組んでいくことも重要と考えます。

なお、令和5年度には、ロームシアター京都のこれまでの取組が評価され、一般財団法人地域創造が主催する「地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞することができました。

今後とも、業務の評価についての視点を常に持ちつつ、社会状況の変化にも確実に対応し、各事業や各業務を着実に進めていくことで、指定管理業務における目標の達成に向けた施設運営を行ってまいります。